



報道関係各位

本格焼酎に関する調査2015 ～11月1日は本格焼酎の日～

11月1日は「本格焼酎の日」です。そこで、南九州酒販株式会社(所在地:鹿児島県鹿児島市南栄4丁目2番 代表取締役社長:永吉孝 URL:http://www.nankyu.jp/)は、焼酎がどのように楽しまれているのかを把握するため、全国の20歳～59歳で月に1回以上焼酎を飲む男女1,000名に対し、「本格焼酎に関する調査2015」を2015年9月30日～10月5日の6日間で、インターネット調査により実施致しました。(調査協力会社:ネットエイジア株式会社)

本リリースでは、焼酎とは「本格焼酎」を指しています。

また、月に1回以上本格焼酎を飲んでいる20歳～59歳の男女を「焼酎愛飲者」とし、男性の焼酎愛飲者を「焼酎男子」、女性の焼酎愛飲者を「焼酎女子」と表現しています。

《焼酎といえば?》

焼酎と聞いてイメージする都道府県 1位は「鹿児島県」でダントツ
焼酎を味わう旅で行きたい都道府県ランキングの1位も「鹿児島県」に

好きな焼酎ランキング 男女とも1位は「芋焼酎」、「黒糖焼酎」は焼酎女子から人気

《焼酎の飲み方》

20代・30代の焼酎女子の6人に1人が「異性との飲み会」で、7人に1人が「デート」で焼酎を楽しんでいると回答
好きな焼酎の飲み方 1位「水割り」 2位「ロック」、「カクテル」は焼酎女子から人気

焼酎に合うおつまみ 1位「やきとり」、本場九州では「馬刺し」「チーズ」「生ハム」が他地域より高い傾向

《焼酎の魅力》

若い女性に焼酎ブーム!? 「焼酎を飲む頻度が増えた」20代・30代の焼酎女子では6割半に

愛飲者の実感! 焼酎の魅力 1位「色々な飲み方がある」 2位「悪酔い・二日酔いしにくい」

焼酎女子の4人に1人が「ダイエット中でも飲める(糖質・プリン体ゼロ)」を焼酎の魅力に
焼酎に期待すること 1位「ストレス軽減」 2位「血液サラサラ」、「痴呆の予防」は5人に1人以上が期待

《焼酎に関する意識》

「じっくり語らう飲みでは焼酎をメインに飲みたい」 焼酎女子の4人に3人

「男子会では焼酎をメインに飲みたい」 焼酎男子の約半数

「同窓会では焼酎をメインに飲みたい」 焼酎男子の4割半

「焼酎の好み合う人(異性)は、一緒にいて安らぐ」 焼酎男子の約6割、焼酎女子では6割半

「好きな人とは、初デートから焼酎を楽しみたい」 焼酎女子の3人に1人

「両想いの人とのデートでは焼酎を楽しみたい」 焼酎女子の半数以上

「好きな人との家飲みでは焼酎を楽しみたい」 焼酎女子の6割以上

「結婚相手とは、焼酎を一緒に楽しみたい」 焼酎女子では7割に

《焼酎×芸能人・歴史上の人物》

焼酎デートをしたいと思う芸能人 焼酎男子が選ぶ1位「石原さとみ」 焼酎女子が選ぶ1位「福山雅治」

焼酎を楽しむ女子会に来て欲しい芸能人 3位「大久保佳代子」 2位「いとうあさこ」 1位は?

焼酎と一緒に飲みながら人生相談をしたい 歴史上の人物 1位「坂本龍馬」 芸能人 1位「マツコ・デラックス」

本リリースの内容の転載にあたりましては、

「南九州酒販調べ」と付記のうえご使用いただきますよう、お願い申し上げます。

【問い合わせ窓口】南九州酒販株式会社 担当:日高

TEL: 099-260-2655 E-Mail: info@nankyu.jp



《焼酎といえぱ?》

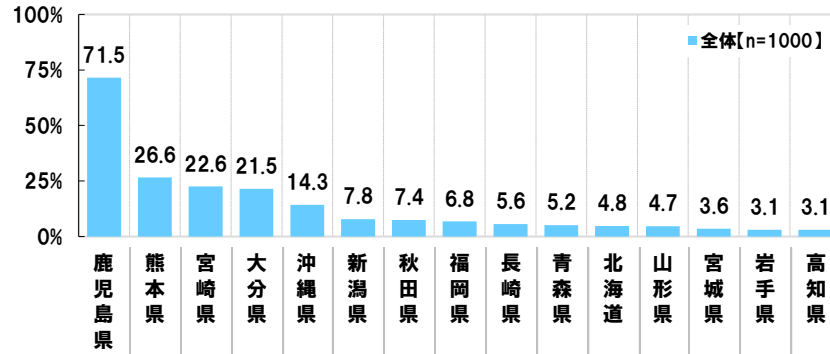
- ◆焼酎と聞いてイメージする都道府県 1位は「鹿児島県」でダントツ
- ◆焼酎を味わう旅で行きたい都道府県ランキングの1位も「鹿児島県」に
- ◆好きな焼酎ランキング 男女とも1位は「芋焼酎」、「黒糖焼酎」は焼酎女子から人気

全国の20歳～59歳で月に1回以上焼酎を飲む男女1,000名(全回答者)に、焼酎と聞いてイメージする都道府県を聞いたところ、「鹿児島県」が71.5%で際立って高く、次いで、「熊本県」26.6%、「宮崎県」22.6%、「大分県」21.5%が続きました。“焼酎といえぱ鹿児島県”という人が多いようです。

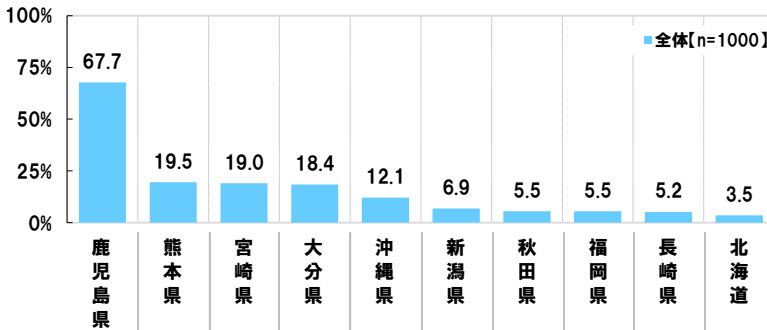
また、美味しい焼酎がたくさん造られていると思う都道府県と美味しい焼酎を味わう旅に行きたいと思う都道府県を聞いたところ、どちらも「鹿児島県」(美味しい焼酎がたくさん造られている67.7%、美味しい焼酎を味わう旅に行きたい57.0%、以下同順)が2位の「熊本県」(19.5%、16.5%)を大きく離してのトップとなりました。単に焼酎＝鹿児島県というイメージだけではなく、“美味しい焼酎＝鹿児島県”というイメージが持たれていることが明らかになりました。

さらに、美味しい焼酎に詳しい人の出身地と聞いてイメージする都道府県でも「鹿児島県」(49.6%)が1位でした。

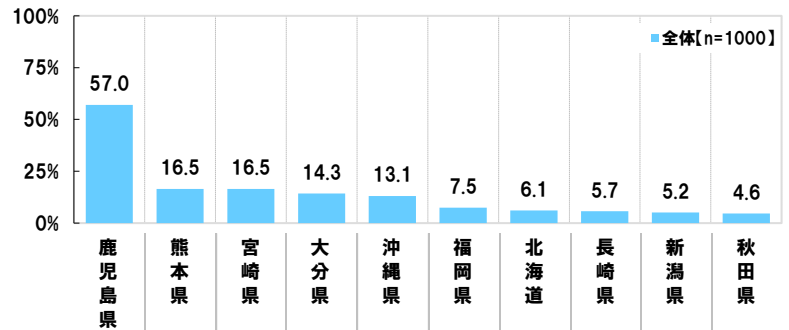
◆焼酎と聞いてイメージする都道府県【複数回答形式】 ※上位15位を抜粋



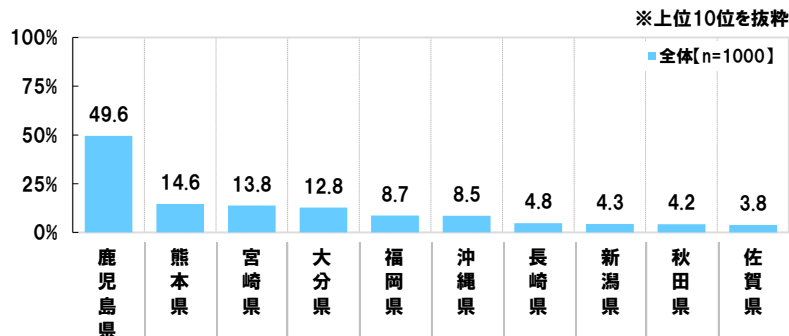
◆美味しい焼酎がたくさん造られていると思う都道府県【複数回答形式】 ※上位10位を抜粋



◆美味しい焼酎を味わう旅に行きたいと思う都道府県【複数回答形式】 ※上位10位を抜粋



◆美味しい焼酎に詳しい人の出身地と聞いてイメージする都道府県【複数回答形式】

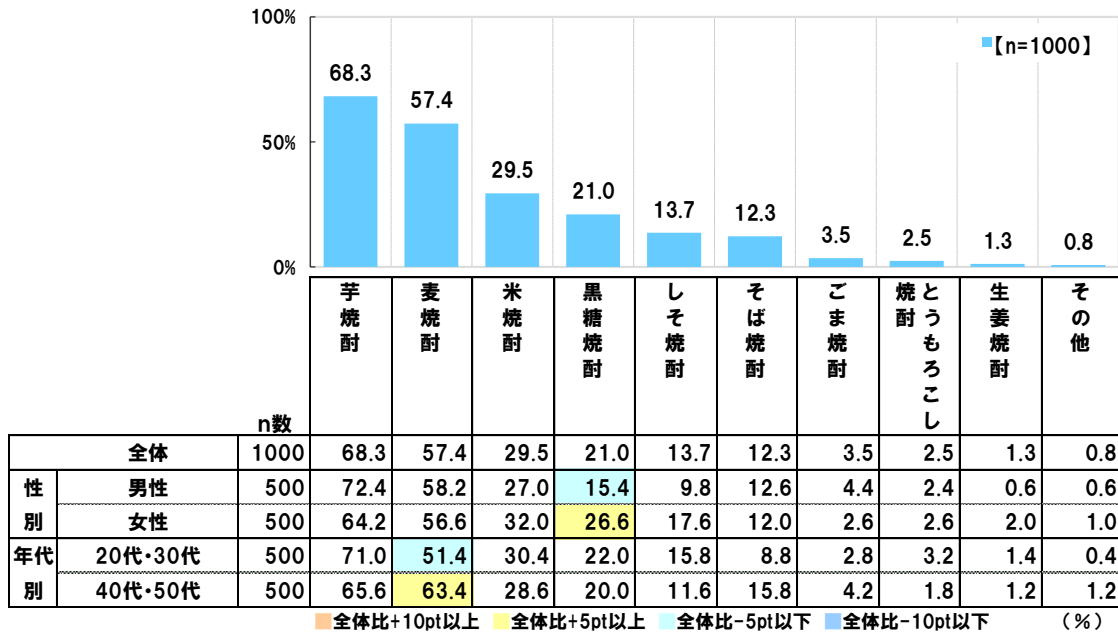




次に、全回答者(1,000名)に、どのような焼酎が好きか聞いたところ、「芋焼酎」が68.3%で最も多く、次いで、「麦焼酎」57.4%、「米焼酎」29.5%、「黒糖焼酎」21.0%が続きました。

男女別にみると、「芋焼酎」は男性(72.4%)、女性(64.2%)のどちらでも1位となりました。他方、「黒糖焼酎」は男性(15.4%)より女性(26.6%)からの支持率のほうが高く、女性の4人に1人以上が好きな焼酎に挙げました。女性に人気の焼酎として取り上げられる事が多い黒糖焼酎ですが、それを裏付ける結果となりました。

◆どのような焼酎が好きか [複数回答形式]





《焼酎の飲み方》

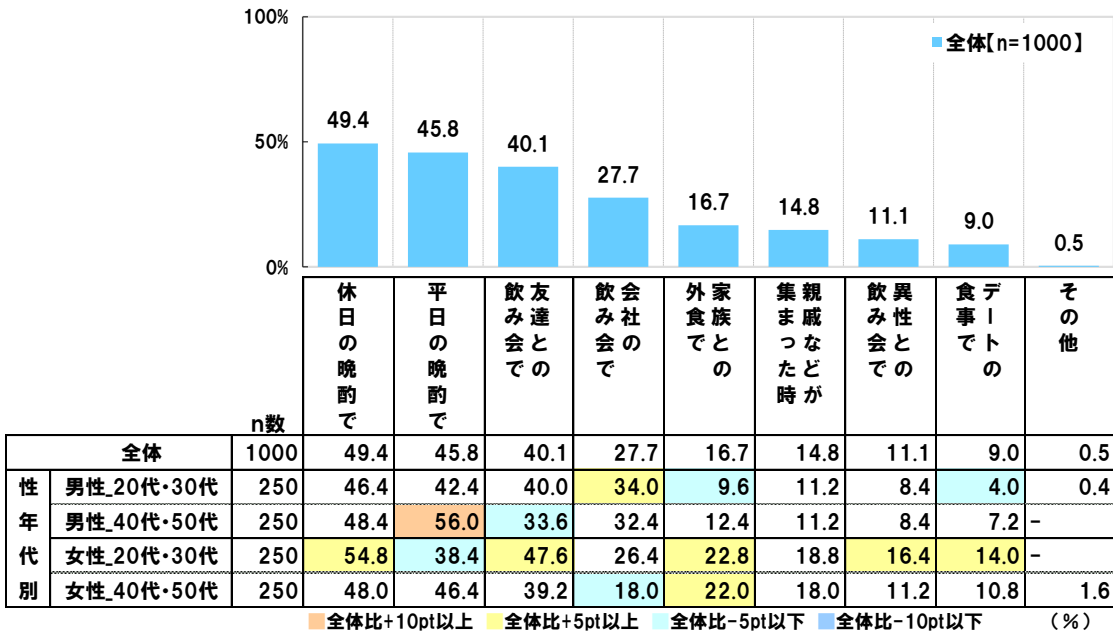
- ◆20代・30代の焼酎女子の6人に1人が「異性との飲み会」で、7人に1人が「デート」で焼酎を楽しんでいると回答
- ◆好きな焼酎の飲み方 1位「水割り」 2位「ロック」、「カクテル」は焼酎女子から人気
- ◆焼酎に合うおつまみ 1位「やきとり」、本場九州では「馬刺し」「チーズ」「生ハム」が他地域より高い傾向

それでは、焼酎は、日頃、どのようにして飲まれているのでしょうか。全回答者(1,000名)に、焼酎の飲み方について聞きました。

まず、全回答者(1,000名)に、普段、どのようなときに焼酎を飲んでいるか聞いたところ、「休日の晩酌で」49.4%が最も多く、「平日の晩酌で」45.8%、「友達との飲み会で」40.1%が続きました。焼酎は、特別なときに飲むお酒というよりは、普段飲みするお酒として楽しまれているようです。

性年代別にみると、40代・50代の男性では「平日の晩酌で」が56.0%と半数を超え、他の性年代層より高くなりました。普段から焼酎を楽しんでいるのは特に40代・50代の男性のようです。また、20代・30代の女性では、「友達との飲み会で」(47.6%)のほか、「異性との飲み会で」(16.4%)や「デートの食事で」(14.0%)でも他の性年代層より飲んでいる割合が高い傾向がみられました。幅広いシーンで焼酎を楽しんでいるのは20代・30代の女性のようです。

◆普段、どのようなときに焼酎を飲んでいるか〔複数回答形式〕

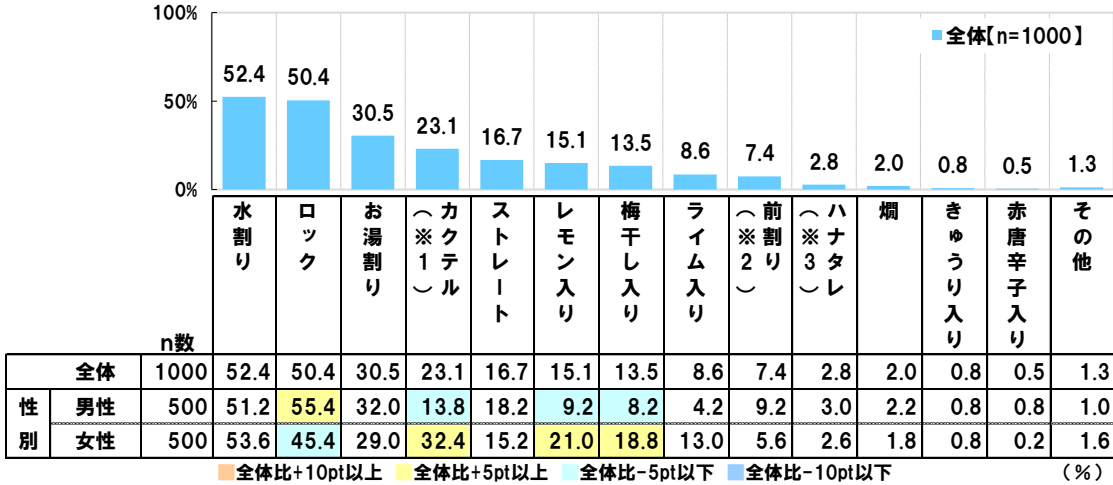


次に、全回答者(1,000名)に、焼酎のどのような飲み方が好きか聞いたところ、最も多かったのは「水割り」で52.4%、僅差で「ロック」50.4%が続き、さらに「お湯割り」30.5%が続きました。焼酎そのものの風味を楽しんでいる人が多いようです。

男女別にみると、「ロック」を好んでいるのは特に男性のようで、男性では55.4%で好きな飲み方のトップになりました。一方、女性では「カクテル(緑茶割りやソーダ割りなど)」が男性に比べ高く、女性では32.4%と、女性の3人に1人が好きな飲み方に挙げました。



◆どのような焼酎の飲み方が好きか [複数回答形式]



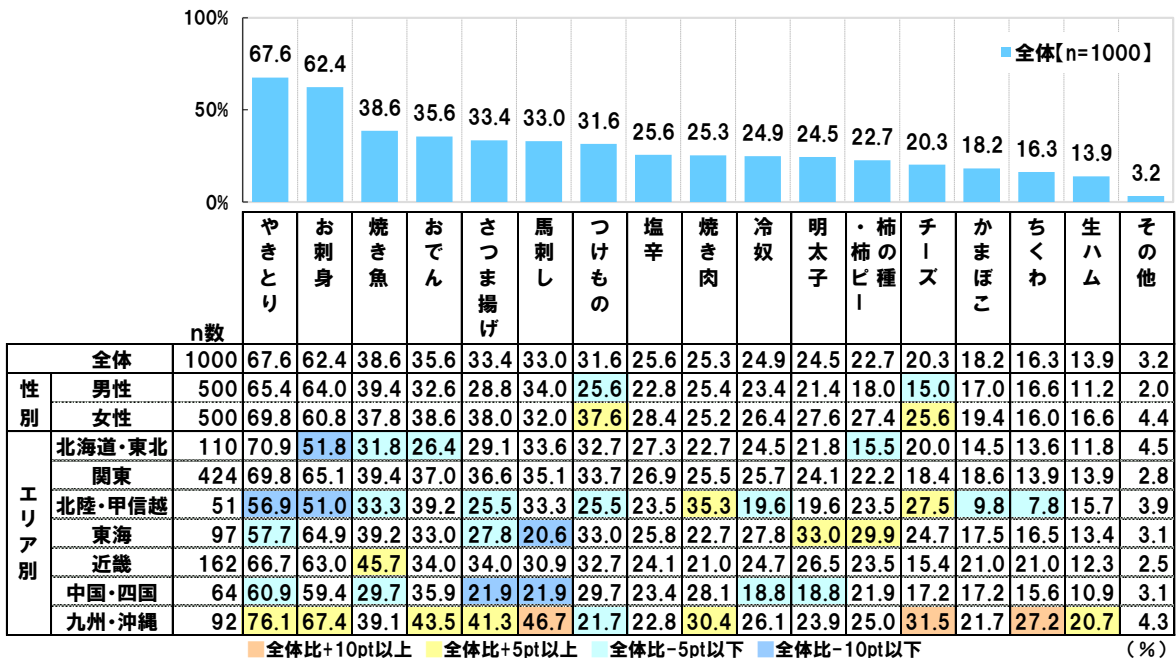
※1 カクテル：緑茶割りやソーダ割りなど
 ※2 前割り：あらかじめ焼酎と水を好みの割合に混ぜ合わせて1日～数日間寝かせる飲み方
 ※3 ハナタレ：冷凍庫でキンキンに冷やす飲み方

また、全回答者(1,000名)に、焼酎と合うと思うおつまみを聞いたところ、「やきとり」が最も多く67.6%、次いで、「お刺身」が62.4%で続きました。

男女別にみると、「つけもの」(男性25.6%、女性37.6%)と「チーズ」(男性15.0%、女性25.6%)は、女性のほうが高くなり、「つけもの」は女性の3人に1人以上、「チーズ」は女性の4人に1人が焼酎と合うおつまみに挙げました。つけものとチーズを使ったおつまみとしては、クリームチーズをいぶりがっこ(大根を燻製し、つけたもの)でサンドしたのがありますが、このようなおつまみは焼酎女子からのウケがいいのかもしれませんが。

また、エリア別にみると、九州・沖縄エリアでは「馬刺し」が46.7%と他のエリアより高くなり、「やきとり」「お刺身」に次いで3位になりました。また、「チーズ」(31.5%)や「生ハム」(20.7%)も他のエリアより高く、本場九州の人は、ワインと合うイメージがあるような洋風のおつまみでも焼酎を楽しんでいることがわかりました。

◆焼酎と合うと思うおつまみ [複数回答形式]





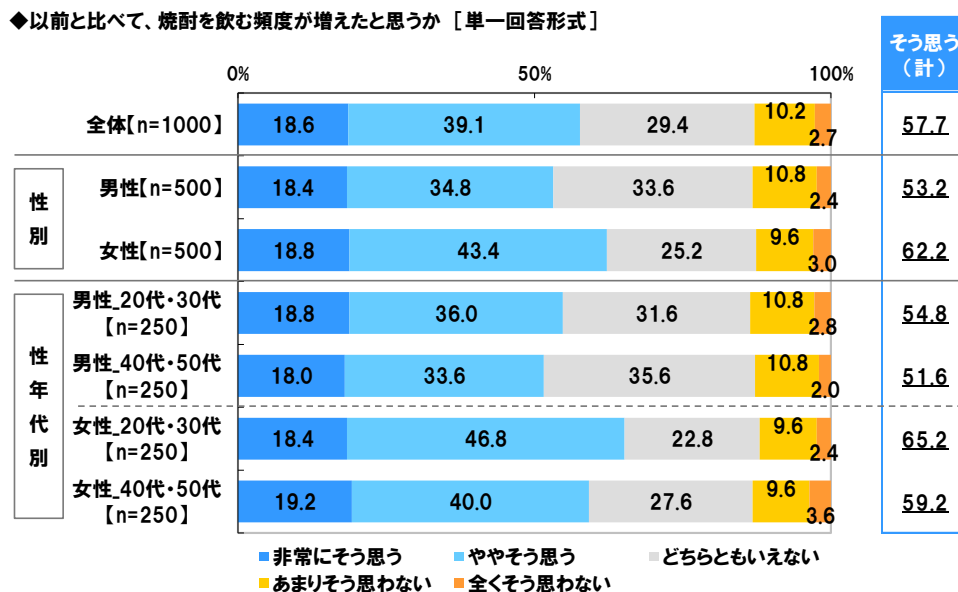
《焼酎の魅力》

- ◆若い女性に焼酎ブーム!? 「焼酎を飲む頻度が増えた」20代・30代の焼酎女子では6割半に
- ◆愛飲者の実感！ 焼酎の魅力 1位「色々な飲み方がある」 2位「悪酔い・二日酔いしにくい」
焼酎女子の4人に1人が「ダイエット中でも飲める(糖質・プリン体ゼロ)」を焼酎の魅力に
- ◆焼酎に期待すること 1位「ストレス軽減」 2位「血液サラサラ」、「痴呆の予防」は5人に1人以上が期待

次に、最近の焼酎を飲む頻度について聞きました。

全回答者(1,000名)に、以前と比べて、焼酎を飲む頻度が増えたと思うか聞いたところ、「非常にそう思う」18.6%、「ややそう思う」39.1%となり、それらを合計した『そう思う(計)』は57.7%になりました。

男女別にみると、焼酎を飲む頻度が以前より増えたと感じているのは、男性より女性で、男性の53.2%に対して、女性では62.2%となり、20代・30代の女性では65.2%でした。最近では、フルーティーな味わいが人気の赤芋焼酎や紫芋焼酎が全国に広まっているといわれており、芋焼酎は女性が好きな焼酎の1位でした(P.3参照)。若い女性の焼酎を飲む頻度が増えているのは、赤芋焼酎や紫芋焼酎によるものなのかもしれません。



それでは、焼酎の魅力とはどのようなところにあるのでしょうか。

全回答者(1,000名)に、焼酎のどのようなところが魅力だと思うか聞いたところ、最も多かったのは「色々な飲み方がある」で39.2%、次いで、「悪酔い・二日酔いしにくい」38.8%、「値段が安い」38.0%、「味・香り」31.7%が続きました。

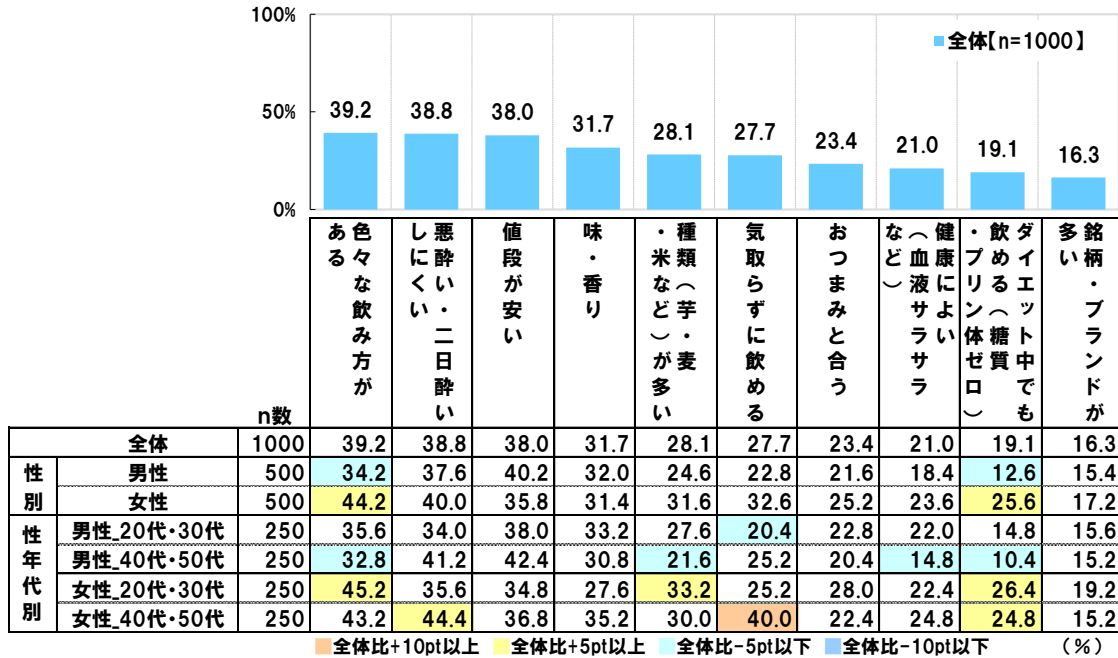
男女別にみると、「色々な飲み方がある」(男性34.2%、女性44.2%)は女性のほうが高くなりました。また、「ダイエット中でも飲める(糖質・プリン体ゼロ)」でも同様の傾向がみられ、男性の12.6%に対して女性では25.6%と4人に1人の割合となりました。焼酎女子にとっては、糖質・プリン体ゼロのためダイエット中でも飲めるということも魅力の一つのようです。

また、20代・30代の女性では「色々な飲み方がある」(45.2%)や「種類(芋・麦・米など)が多い」(33.2%)が全体に比べ高くなりました。20代・30代の焼酎女子は幅広いシーンで焼酎を楽しんでいるようでしたが(P.4参照)、その時のシーンや気分に合わせて飲み方や種類を選べるのが焼酎の魅力になっているのではないのでしょうか。



◆焼酎のどのようなところが魅力だと思うか [複数回答形式]

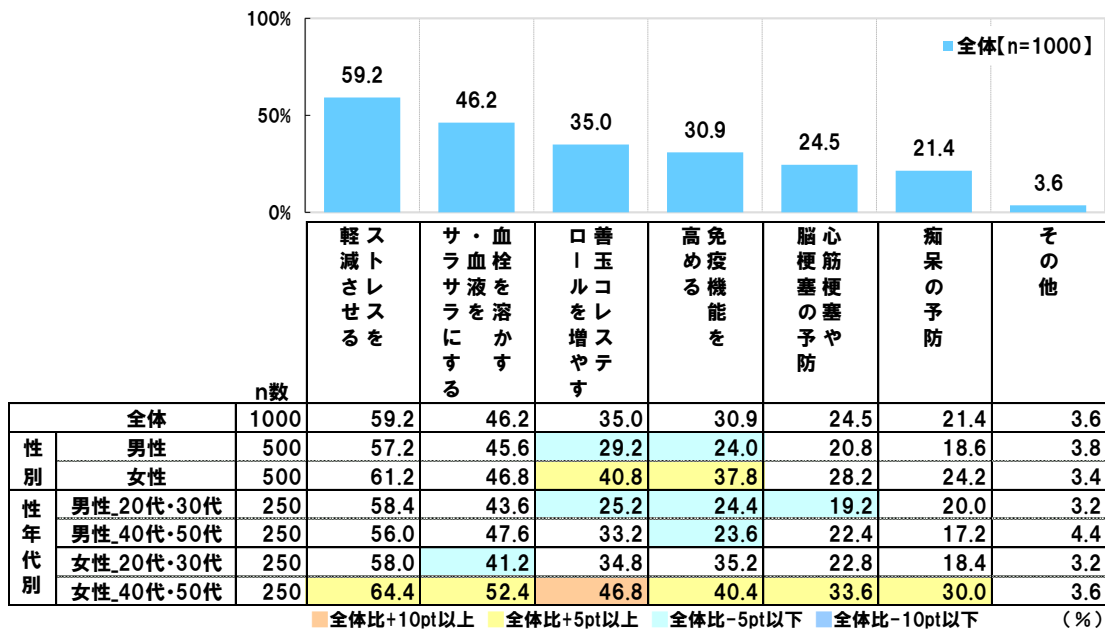
※上位10位を抜粋



次に、全回答者(1,000名)に、焼酎に期待することを聞いたところ、「ストレスを軽減させる」が最も多く59.2%、次いで、「血栓を溶かす・血液をサラサラにする」46.2%、「善玉コレステロールを増やす」35.0%が続きました。また、「免疫機能を高める」(30.9%)や「心筋梗塞や脳梗塞の予防」(24.5%)、「痴呆の予防」(21.4%)との回答も少なくはなく、健康面で期待されている効果は多岐にわたるようです。

性年代別にみると、40代・50代の女性ではいずれの項目も他の性年代層より高くなりましたが、特に「善玉コレステロールを増やす」46.8%でその傾向が顕著に表れました。

◆焼酎に期待すること [複数回答形式]





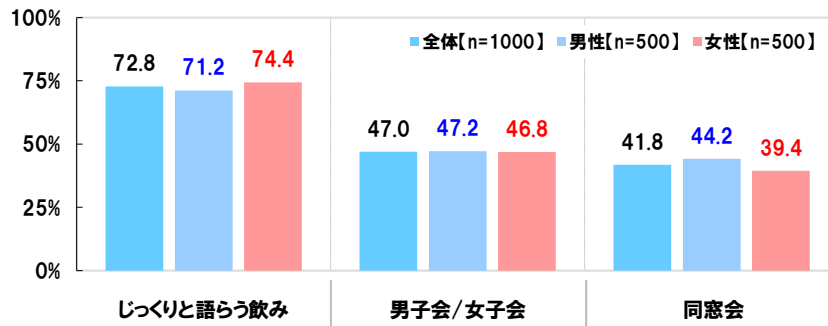
《焼酎に関する意識》

- ◆「じっくり語らう飲みでは焼酎をメインに飲みたい」 焼酎女子の4人に3人
- ◆「男子会では焼酎をメインに飲みたい」 焼酎男子の約半数
- ◆「同窓会では焼酎をメインに飲みたい」 焼酎男子の4割半
- ◆「焼酎の好み合う人(異性)は、一緒にいて安らぐ」 焼酎男子の約6割、焼酎女子では6割半
- ◆「好きな人とは、初デートから焼酎を楽しみたい」 焼酎女子の3人に1人
- ◆「両想いの人とのデートでは焼酎を楽しみたい」 焼酎女子の半数以上
- ◆「好きな人との家飲みでは焼酎を楽しみたい」 焼酎女子の6割以上
- ◆「結婚相手とは、焼酎と一緒に楽しみたい」 焼酎女子では7割に

全回答者(1,000名)に、複数のシチュエーションを提示し、焼酎をメインで飲みたいか聞きいたところ、「じっくりと語らう飲み」では『そう思う(計)』(「非常にそう思う」と「ややそう思う」の合計)は72.8%になり、男女別にみても、男性71.2%、女性74.4%と、こうした気持ちに男女差はみられませんでした。腰を落ち着けて友人や仲間とじっくり語らうようなお酒の席で焼酎を楽しみたいと思っている焼酎愛飲者は多いようです。

同様に、その他のシチュエーションについてもみると、「男子会/女子会」では47.0%、「同窓会」では41.8%となりました。男女別にみると、「男子会/女子会」では男性47.2%、女性46.8%、「同窓会」では男性41.8%、女性39.4%でした。

◆シチュエーション別 焼酎をメインで飲みたいと思うか [各単一回答形式]
※『そう思う(計)』(「非常にそう思う」と「ややそう思う」の合計)を表示

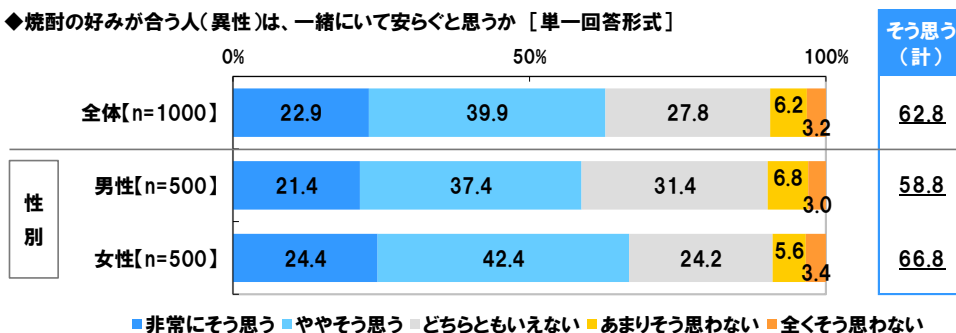


次に、恋愛シーンと焼酎を絡めた意識を聞きました。

まず、焼酎の好み合う人(異性)は、一緒にいて安らぐと思うか聞いたところ、「非常にそう思う」22.9%、「ややそう思う」39.9%で、合計した『そう思う(計)』は62.8%でした。

男女別に『そう思う(計)』をみると、男性では58.8%、女性では66.8%となりました。焼酎の好み合う人に安らぎを覚えるのは、焼酎男子より焼酎女子のようです。

◆焼酎の好み合う人(異性)は、一緒にいて安らぐと思うか [単一回答形式]

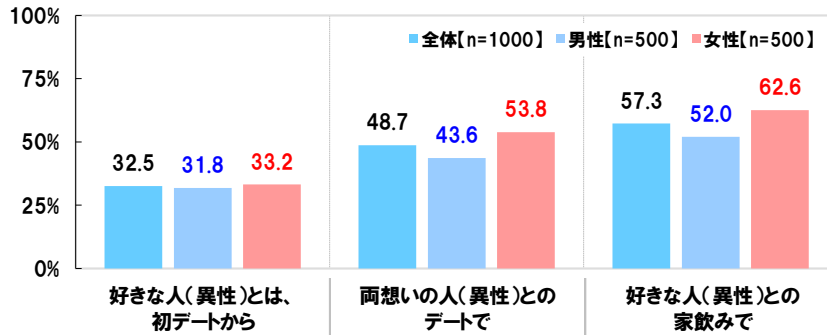




次に、複数のデートのシチュエーションを提示し、焼酎を楽しみたいか聞いたところ、「好きな人(異性)とは、初デートから」では32.5%、「両想いの人(異性)とのデートで」では48.7%、「好きな人(異性)との家飲みで」では57.3%が『そう思う(計)』と回答しました。どのようなときに焼酎を飲んでいるか聞いた質問では「デートの食事」は9.0%にとどまっていますが(P.4参照)、焼酎愛飲者の3人に1人が、初デートからでも焼酎を楽しみたいと思っ

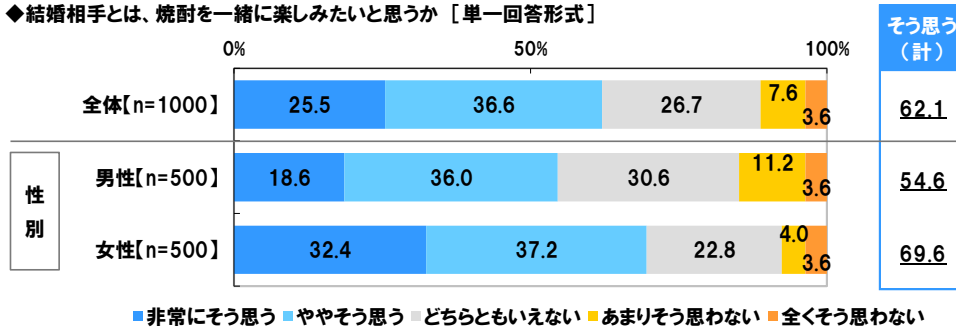
ていることがわかりました。
男女別にみると、デートで焼酎を楽しみたいと思っているのは焼酎男子より焼酎女子のようで、『そう思う(計)』は女性では「好きな人(異性)とは、初デートから」は33.2%、「両想いの人(異性)とのデートで」は53.8%と半数を超え、「好きな人(異性)との家飲みで」は62.6%と6割以上になりました。相手の女性が焼酎を飲むとわかっている場合は、美味しい焼酎と一緒に楽しむ“焼酎デート”に誘うと喜ばれるかもしれません。

◆シチュエーション別_焼酎を楽しみたいと思うか [各単一回答形式]
※『そう思う(計)』(「非常にそう思う」と「ややそう思う」の合計)を表示



また、結婚相手とは、焼酎と一緒に楽しみたいと思うか聞いたところ、「非常にそう思う」25.5%、「ややそう思う」36.6%で、合計した『そう思う(計)』は62.1%となり、男女別に『そう思う(計)』をみると、男性では54.6%、女性では69.6%でした。結婚後に夫婦で焼酎を楽しみたいと思っている焼酎女子は多いようです。

◆結婚相手とは、焼酎と一緒に楽しみたいと思うか [単一回答形式]

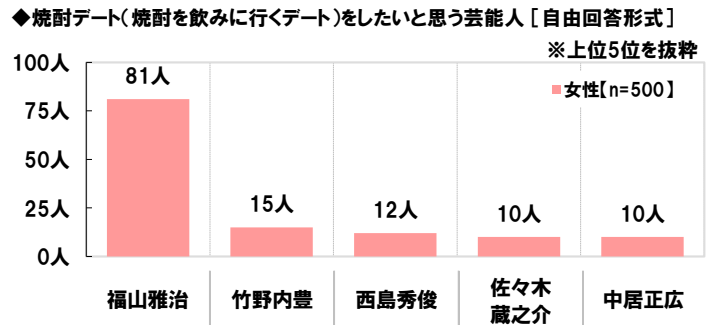
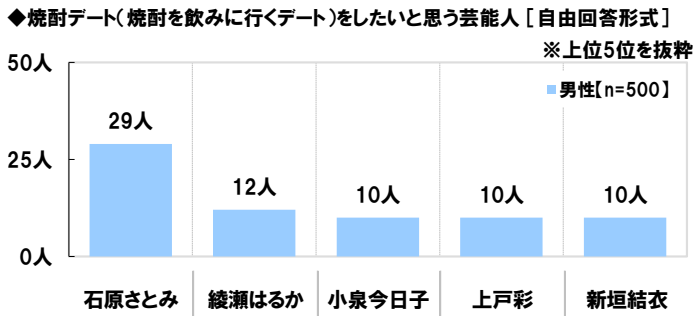




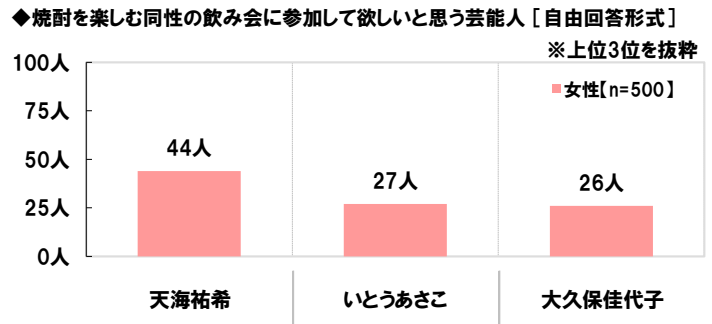
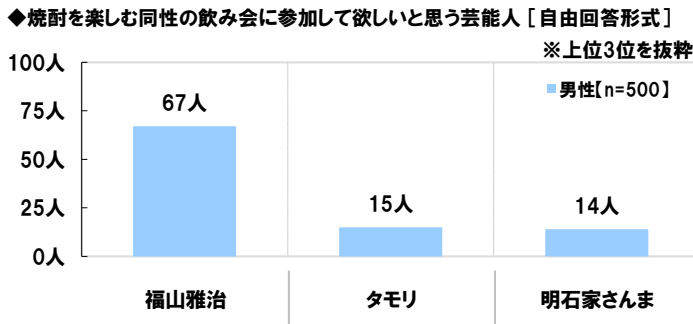
《本格焼酎×芸能人・歴史上の人物》

- ◆焼酎デートをしたいと思う芸能人 焼酎男子が選ぶ1位「石原さとみ」 焼酎女子が選ぶ1位「福山雅治」
- ◆焼酎を楽しむ女子会に来て欲しい芸能人 3位「大久保佳代子」 2位「いとうあさこ」 1位は？
- ◆焼酎を一緒に飲みながら人生相談をしたい 歴史上の人物 1位「坂本龍馬」 芸能人 1位「マツコ・デラックス」

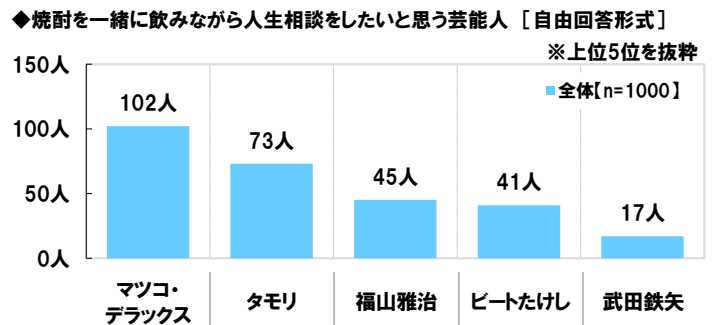
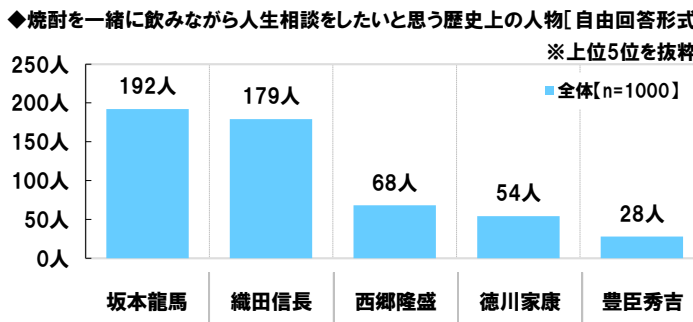
全回答者(1,000名)に、焼酎デート(焼酎を飲みに行くデート)をしたいと思う芸能人を聞いたところ、男性では、1位「石原さとみさん」(29人)、2位「綾瀬はるかさん」(12人)、3位は「小泉今日子さん」「上戸彩さん」「新垣結衣さん」(いずれも10人)の3名が並び、女性では、1位は「福山雅治さん」(81人)でダントツ、2位「竹野内豊さん」(15人)、3位「西島秀俊さん」(12人)、4位「佐々木蔵之介さん」と「中居正広さん」(いずれも10人)となりました。



次に、焼酎を楽しむ同性の飲み会(男性の場合は男子会、女性の場合は女子会)に参加して欲しいと思う芸能人を聞いたところ、男性では、1位は「福山雅治さん」(67人)で2位の「タモリさん」(15人)や3位の「明石家さんまさん」(14人)に大差をつけ、女性では、1位「天海祐希さん」(44人)、2位「いとうあさこさん」(27人)、3位「大久保佳代子さん」(26人)でした。



そして、焼酎を一緒に飲みながら人生相談をしたいと思う歴史上の人物と芸能人を聞いたところ、歴史上の人物の1位は「坂本龍馬」(192人)、2位「織田信長」(179人)、3位「西郷隆盛」(68人)、芸能人の1位は「マツコ・デラックスさん」(102人)、2位「タモリさん」(73人)、3位「福山雅治さん」(45人)となりました。





■■調査概要■■

- ◆調査タイトル：本格焼酎に関する調査2015
- ◆調査対象：ネットエイジアリサーチのモニター会員を母集団とする
全国の20歳～59歳で月に1回以上本格焼酎を飲む男女
- ◆調査期間：2015年9月30日～10月5日
- ◆調査方法：インターネット調査
- ◆調査地域：全国
- ◆有効回答数：1,000サンプル（有効回答から1,000サンプルを抽出）
（内訳）
男性500サンプル（20代・30代：250サンプル/40代・50代：250サンプル）
女性500サンプル（20代・30代：250サンプル/40代・50代：250サンプル）
- ◆実施機関：ネットエイジア株式会社

■■報道関係の皆様へ■■

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、
「南九州酒販調べ」と付記のうえご使用くださいますよう
お願い申し上げます。

■■会社概要■■

- 代表者名：代表取締役社長 永吉 孝
- 設立：昭和37年7月4日
- 所在地：鹿児島市南栄4丁目2番
- 業務内容：
 1. 全酒類の仕入販売並びに加工
 2. 酒類の保管及び搬送
 3. 清涼飲料水並びに食料品の仕入販売
 4. 酒類及び飲料水の販売用機器及び情報処理機器の仕入販売
 5. 貨物自動車運送事業
 6. 生命保険・損害保険代理業務

会社および商品の詳細は <http://www.nankyu.jp/> をご覧ください。